

# 双葉の園 園だより

第371号 令和 3年 8月 4日 発行

## 「誇り高き双葉の子」

園庭でひかり組がドッジボールをしていました。一人の子がまるで審判のような態度で自分の仲の良い友達に有利な判断をしています。ボールを取られた子は困りながらもゲームを続けていましたが、これが度重なるので、余計なおせっかいだと思いながらも「それはルール違反だよ」と言ってしまいました。・・・それからが大変です。

他の子の遊びの邪魔にならないように室内で話をしました。なぜいけないかを説明すると、自分がルール違反をしてしまったことは分かっているのですが何としても認めたくありません。泣いてわめいて……。でもね、お友達に味方しようとした君の気持ちは分かるんだけど、邪魔にされた子は面白くないよ。といういろいろ言っていました。翻訳すると・・・「そんなことはわかってるよ！わかってるけど、自分が注意されたのは我慢ができない。許せない。園長のバカ！バカバカばか！！」だったと思います。もう10分ぐらいは叫び続けていたので、(その間、私は、でもね……。と言いながら背中をさすっていました)・・・「水のむ？」と聞いてみました。うなづいたので水をあげると、おかわりも要求して飲み干しました。

それ以上は、お互いに何も言う事がなくて・・・子どもは、謝らないという気持ちを押し通し、理屈もないのに良く抵抗し……。私の方は、もうしませんという言葉聞き出せませんでした。話は分かったはずだと思い終わりにしました。

自分は悪いと思っていても謝れない。

ここで無理にひざまずかせても、心は屈折したままです。

この子には誇り高く、他の人のことも考えられる人に育ててもらいたいと望むばかりです。ちなみにこの事件の後からは、今までよりもお互いに関係は良くなったと思っています。



皆様、どうか夏の間は、子どもたちが疲れすぎないように・・・子ども達が風邪をひかないよう、病気を他からもらってこないように、お家ではゆっくりお休みいただくようお願いします。

園長 西 大記